



山尾 庸三(ヤマオ ヨウゾウ) 天保8年(1837)~大正6年(1917)



人物紹介

〈変名〉山尾要蔵

長州ファイブ（長州五傑）のひとり。天保8年（1837）藩士繁沢家の給庄屋・山尾忠治郎の三男として周防国吉敷郡二島村（現山口市秋穂）に生まれる。

安政3年（1856）、江戸へ行き、練兵館に入塾。文久2年（1862）、御楯隊に加わり、英国公使館焼き討ちを決行。文久3年（1863）、伊藤博文・井上馨・井上勝・遠藤謹助らと英国に渡航。ロンドン大学で学び、グラスゴーで見習工として技術を磨いた。明治元年（1868）帰国。

明治3年（1870）、山尾の建議により、工部省が誕生。明治4年（1871）には工学教育を行う工部省工学寮（工部大学校）の設置を建議。開校した工学寮は建築家の辰野金吾や、「日本のエジソン」と称される藤岡市助など、優秀な人材を数多く世に送り出した。

また、障害者教育にも力を注ぎ、明治4年（1841）に盲啞学校設置の建白書を提出、明治9年（1846）には楽善会に入会し、訓盲院設置に貢献。明治13年（1880）、工部卿に就任し、鉄道業・鉱山開発に尽力。明治18年（1885）第一次伊藤内閣にて法制官長官に任命される。

明治31年（1898）、辞職。大正6年（1917）、81歳没。



資料紹介

県立図書館所蔵の山尾庸三に関する本



伝記

- 『山尾庸三傳 明治の工業立国の父』
兼清正徳著 山尾庸三顕彰会 2003 Y289/Y 41
p12~16に家系図、巻末に人名・事項索引があり、巻末の年譜は生涯だけでなく、家族の経歴・写真や、関連記事が発表された日など、没後も含めて山尾に関する事項を記した年譜となっている。
- 『山尾家と山尾庸三 増補改訂版』
日本外交協会萩支部 2017 Y289/Y 41
- 『その後の長州五傑』
松野浩二著 東洋図書出版 2011 Y215.8/P 1
長州藩の歴史的背景をはじめ、長州五傑の生涯を記した1冊。

工学教育

- 『日本工業教育成立史の研究 増補』
三好信浩著 風間書房 2012 507.7/P 2
工部学校の設立経緯および巻末に人名・事項索引あり。
- 『国際日本を拓いた人々』
北政巳著 同文館 1984 R210.6/L 4
山尾や岩倉使節団の海外渡航と、外国人教師団を雇った工部学校に関する資料。巻末に人名・事項索引あり。

- 障害者教育**
- 『山尾庸三 日本の障害者教育の魁』
松岡秀隆著 友月書房 2014 Y289/Y 41
盲啞学校設立の建白書と、楽善会の詳細に関する資料。
 - 『盲聾教育八十年史』文部省 1958 R378.1/I 8
巻末の「資料編」に、明治4年に提出した盲啞教育に関する建白書が収載されている。
 - 『開校五十周年誌 昭和32年』
山口県立ろう学校 1957 Y378.2/I 7

- その他**
- 『日本の工学の父山尾庸三』萩博物館 2017 Y289/Y 41
山尾家から萩市に寄贈された資料の写真を中心とした資料集。
巻末に掲載資料の一覧あり。
 - 『山尾家譜系伝』山尾隆一 1985 Y288/L 5
山尾家の詳細な系図。
 - 『秋穂二島史』吉松慶久著 二島公民館 1969 Y247/J 9
第十篇「旧家人物」に山尾の略歴および分家も含む家系の紹介あり。
 - 『密航留学生「長州ファイブ」を追って』（萩ものがたり Vol.6)
宮地ゆう著 萩ものがたり 2005 Y215.8/N 5
ロンドンやグラスゴーなど、長州ファイブに関連がある地域の学者への取材記録。
 - 『長州ファイブ物語』（萩ものがたり Vol.28)
道迫真吾著 萩ものがたり 2010 Y215.8/P 0
長州ファイブの密航経緯、五人の経歴について紹介。振り仮名が多く、読みやすい。
 - 『きらり山口人物伝 Vol.2』夢チャレンジ出版事業刊行委員会製作
山口県ひとづくり財団 2008 Y280/N 7
小学生・中学生向けにわかりやすく偉人を紹介。
 - 国立国会図書館デジタルコレクションにてインターネット公開
『名士の嗜好』中央新聞社編 1900
p91-97「山尾庸三子 金魚」
中央新聞社が著名人に行った聞き書きをまとめた資料。

◇ リストでご紹介した本は図書館にある本のごく一部です。
このほかにも関連する本がありますので、詳しくはお問い合わせください。

山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています



山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL：083-924-2114（調査・相談）
FAX：083-932-2817
ホームページ：http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/

作成日：平成30(2018)年3月31日